

【森林整備課所管 再評価審議資料】

○再評価対象箇所一覧表	・・・ p 1
再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について	・・・ p 2～3
○平成30年度 再評価実施箇所	
再評価実施箇所（附図）	・・・ p 4～8
公共林道事業	・・・ p 9～10
1) 中美濃	・・・ p 11～15
2) 加茂東	・・・ p 16～20
3) 恵北東	・・・ p 21～25
4) 三森山	・・・ p 26～30
5) 下呂～萩原	・・・ p 31～35

平成30年度 再評価対象箇所一覧表

[林政部森林整備課]

番号	事業名	路線・河川名	市町村名	採択年度	完了予定年度	事業概要		全体事業費 (百万円)	実施済み額 (百万円)		進捗率 (%)	経過年数		政策との 位置付け	関連事業の進 捗状況	社会経済情勢 等の変化及び 地元の意向	環境との調 和への配慮 事項	事業費削減	費用対効果 果分析	対応方針 (案)	特記事項	
						全事業量	実施事業 量		用地補償費 工事費等	用地補償費 工事費等		用地補償費 工事費等	用地補償費 工事費等									経過年数 (H30.3現在)
1	公共林道事業 (森林環境保全 整備事業 農山漁村地域 整備交付金 他)	中美濃	関市 美濃市 郡上市	H元	H32	20,004	19,599	98.0%	4,867	4,814	98.9%	29	岐阜県森林つ くり基本計画	-	県内の大型木 材関連施設が 稼働 地元は、早期 完成を強く要望	木製構造物 の採用 リサイクル製 品の活用	補強土壁工、 L型擁壁工の 採用	(1.4) 1.2	継続			
2	公共林道事業 (森林環境保全 整備事業 農山漁村地域 整備交付金)	加茂東	白川町 東白川村	H5	H32	25,440	24,493	96.3%	4,889	4,747	97.1%	25	岐阜県森林つ くり基本計画	-	県内の大型木 材関連施設が 稼働 事業早期完成 を要望	間伐材・リサ イクル製品 の活用	補強土壁工 の適用	(1.6) 1.5	継続			
3	公共林道事業 (農山漁村地域 整備交付金)	恵北東	中津川市	H5	H32	20,522	19,549	95.3%	6,191	5,988	96.4%	25	岐阜県森林つ くり基本計画	-	県内の大型木 材関連施設が 稼働 事業継続・早 期完成を希望	間伐材・リサ イクル製品 の活用	補強土壁工、 L型擁壁工の 採用	(1.3) 1.3	継続			
4	公共林道事業 (農山漁村地域 整備交付金 地方創生道整 備推進交付金)	三森山	中津川市 恵那市	H5	H40	31,043	13,641	43.9%	7,699	4,482	58.2%	25	岐阜県森林つ くり基本計画	-	県内の大型木 材関連施設が 稼働 事業継続・早 期完成を希望	間伐材・リサ イクル製品 の活用	補強土壁工、 L型擁壁工の 採用	(1.3) 1.3	継続			
5	公共林道事業 (森林環境保全 整備事業 農山漁村地域 整備交付金)	下呂～萩原	下呂市	S62	H33	40,931	40,154	98.1%	9,600	9,271	96.6%	31	岐阜県森林つ くり基本計画	-	県内の大型木 材関連施設が 稼働 地元・住民・下 呂市とも早期 供用を要望	間伐材の活 用、再生・リ サイクル製 品活用、残 土削減等	二次製品、補 強土壁工の 採用	(1.2) 1.2	継続			

費用対効果分析:()は前回再評価時の投資効果率

平成30年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

課名 森林整備課

○事業制度について	事業名	公共林道事業（森林環境保全整備事業・農山漁村地域整備交付金事業 地方創生道整備推進交付金）
	事業目的	<ul style="list-style-type: none"> 山村と都市の共生・対流を図り、快適な居住環境を広く創出することとし、居住地周辺の森林、山村地域の定住基盤、森林整備の基礎となり生活環境の改善にも資する骨格的な林道等の整備を総合的に実施する。 森林の持つ機能に応じた森林整備を計画的に推進することにより、森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、森林環境の保全に資する。
	採択基準	<p>○基幹道 地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が1000ha以上、かつ全体計画延長が7km以上。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が計画されていること。</p> <p>○管理道、施業道 地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が50ha以上、かつ全体計画延長が1km以上（過疎、特定・準特定市町村等は30ha以上かつ0.8km以上）。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が計画されていること。</p>
	概要 (メニュー)	<ul style="list-style-type: none"> 森林基幹道開設 森林管理道開設 森林施業道開設
○費用対効果の分析について *費用便益 B/C*	効果の項目 うち貨幣換算する項目（B）	<ul style="list-style-type: none"> ○木材生産等便益 <ul style="list-style-type: none"> 木材生産等経費縮減便益 林道整備による木材の搬出・輸送経費の縮減効果 木材利用促進便益 切り捨てとなっていた間伐材が、林道整備により搬出・利用される効果 木材生産確保・増進便益 林道整備により新たに伐採が促進され生産・利用される効果 ○森林整備経費縮減等便益 <ul style="list-style-type: none"> 造林作業経費縮減便益 林道整備により造林等作業員の歩行時間等の縮減効果 森林管理等経費縮減便益 林道整備により森林管理の巡視・普及指導を行う者の歩行時間縮減効果 森林整備促進便益 造林・保育が不十分となっていた森林が、林道整備により森林整備が行われることによる「水源かん養」「山地保全」「環境保全」の効果 ○森林の総合利用便益 <ul style="list-style-type: none"> ふれあい機会創出便益 林道整備により森林等とのふれあいの機会が創出される効果
		その他項目
	費用（C）の算定	<ul style="list-style-type: none"> 費用の積み上げ基準：事業費（建設費）＋維持管理費＋森林整備費 単価の基準：評価を実施する年度 現在価値化に用いる割引率4%（B及びC共通） 評価対象期間は事業完了後40年間

費用 便 益 比 の 基 準	費用便益比（B／C）が1.0以上
----------------------------------	------------------

平成30年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔森林整備課〕

番 号	2	事 業 名 (路線・河川名等)	公共林道事業(森林環境保全整備事業、農山漁村地域整備交付金) 林道 加茂東線		
事業実施箇所	起点：加茂郡白川町三川字米野 終点：加茂郡東白川村神土字源藤	事業主体	岐阜県		
採択年度	平成5年度	完了予定年度	平成32年度		
再評価の実施基準	再評価後5年間が経過した時点で継続中の事業				
事業目的	<p>加茂郡白川町と加茂郡東白川村とを結ぶ1,574haの森林内の路網の骨格となる幹線林道であり、効率的な林業経営や適正な森林管理に資することを目的とする。</p>				
事業概要	<p>幅員 4.0～5.0m 全体計画延長 25,440m 全体事業費 4,888,830千円 利用区域森林面積 1,574ha 同蓄積 357,561m³</p>				
概要図					

平成30年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔森林整備課〕

番 号	3	事 業 名 (路線・河川名等)	公共林道事業（農山漁村地域整備交付金） 林道 恵北東線
事業実施箇所	起点：中津川市川上 終点：中津川市付知町	事業主体	岐阜県
採択年度	平成5年度	完了予定年度	平成32年度
再評価の実施基準	再評価後5年間が経過した時点で継続中の事業		
事業目的	<p>本林道の利用区域内の人工林率は75%でその90%がヒノキであり、地域ブランドである東濃ヒノキの産地である。東濃ヒノキの生産性向上のため、適正な森林整備を促進し、効率的な林業経営の基盤となること、また地域間を連絡することから県内道路ネットワークを形成すること、併せて森林の総合利用に資することを目的とする。</p>		
事業概要	<p>幅員 5.0m 全体計画延長 20,522m 全体事業費 6,191,100千円 利用区域森林面積 2,170ha 同蓄積 523,588m³</p>		
概要図	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;"> </div> <div style="flex: 1;"> </div> </div>		

平成30年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔森林整備課〕

番 号	4	事 業 名 (路線・河川名等)	公共林道事業 (農山漁村地域整備交付金、地方創生道整備交付金) 林道 三森山線
事業実施箇所	起点：中津川市阿木 終点：恵那市上矢作町	事業主体	岐阜県
採択年度	平成5年度	完了予定年度	平成40年度
再評価の実施基準	再評価後5年間が経過した時点で継続中の事業		
事業目的	<p>本林道は、利用区域の62%を人工林が占め、その86%がヒノキであり、地域ブランドである東濃ヒノキの産地である。東濃ヒノキの生産性向上のため、適正な森林整備を促進し、効率的な林業経営の基盤となること、併せて森林の総合利用に資することを目的とする。</p>		
事業概要	<p>幅員 4.0～5.0m 全体計画延長 31,043m 全体事業費 7,698,578千円 利用区域面積 2,353ha 同蓄積 511,953m³</p>		
概要図			

平成30年度 再評価実施箇所（附図）

担当課〔森林整備課〕

番 号	5	事 業 名 (路線・河川名等)	公共林道事業(森林環境保全整備事業、農山漁村地域整備交付金) 林道 下呂～萩原線
事業実施箇所	起点：下呂市御厩野 終点：下呂市萩原町桜洞	事業主体	岐阜県
採択年度	昭和62年	完了予定年度	平成33年
再評価の実施基準	再評価後5年間が経過した時点で継続中の事業		
事業目的	<p>当該地域山林は急傾斜地が多く、谷沿い突込み線形等限られた森林を対象とする林道整備にとどまっている。当該路線は、人工林資源を効率的に管理・収穫できる山腹中央部分を通る線形を作設することで既存林道・作業路網が一体となった林内路網が完成し、適正な森林整備を促進し、効率的な搬出等林業経営が行いやすい環境整備を目的とする。</p>		
事業概要	<p>幅員 5.0m 全体延長 40,931m 全体事業費 9,600,000千円 利用区域森林面積 5,123ha 同蓄積 1,447,379m³</p>		
概要図			

県の施策における位置づけ

H19~23：第1期計画「生きた森林づくり」

H24~28：第2期計画「恵みの森林づくり」

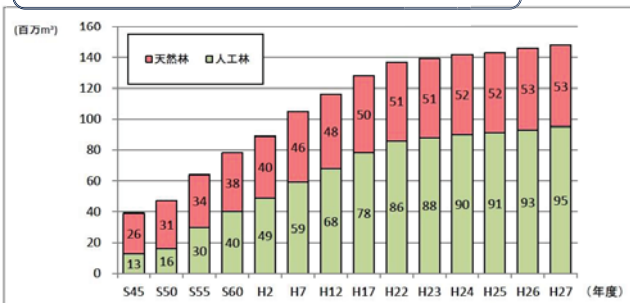
第3期岐阜県森林づくり基本計画（H29~33） 100年先の森林づくり

○林業及び木材産業の振興

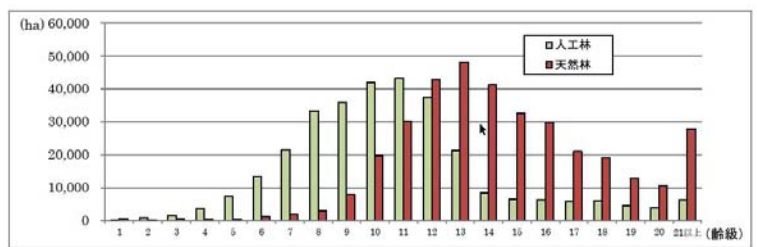
林道、林業専用道、作業道を適切に組み合わせた
路網ネットワークづくりを進める

事業を巡る社会経済情勢等の変化

(1) 森林資源の充実



民有林森林資源の推移



民有林の人工林・天然林の年齢別面積(H27末)

(2) 新たな木材需要の創出

- 合板工場（森の合板工場）
中津川市でH23年4月 稼働
木材使用量 10万m³
- バイオマス発電施設（岐阜バイオマスパワー）
瑞穂市でH26年12月 稼働
木材使用量 9万m³
- 大型製材工場（長良川木材事業協同組合）
郡上市でH27年9月 稼働
木材使用量 5万m³(取扱可能量10万m³)

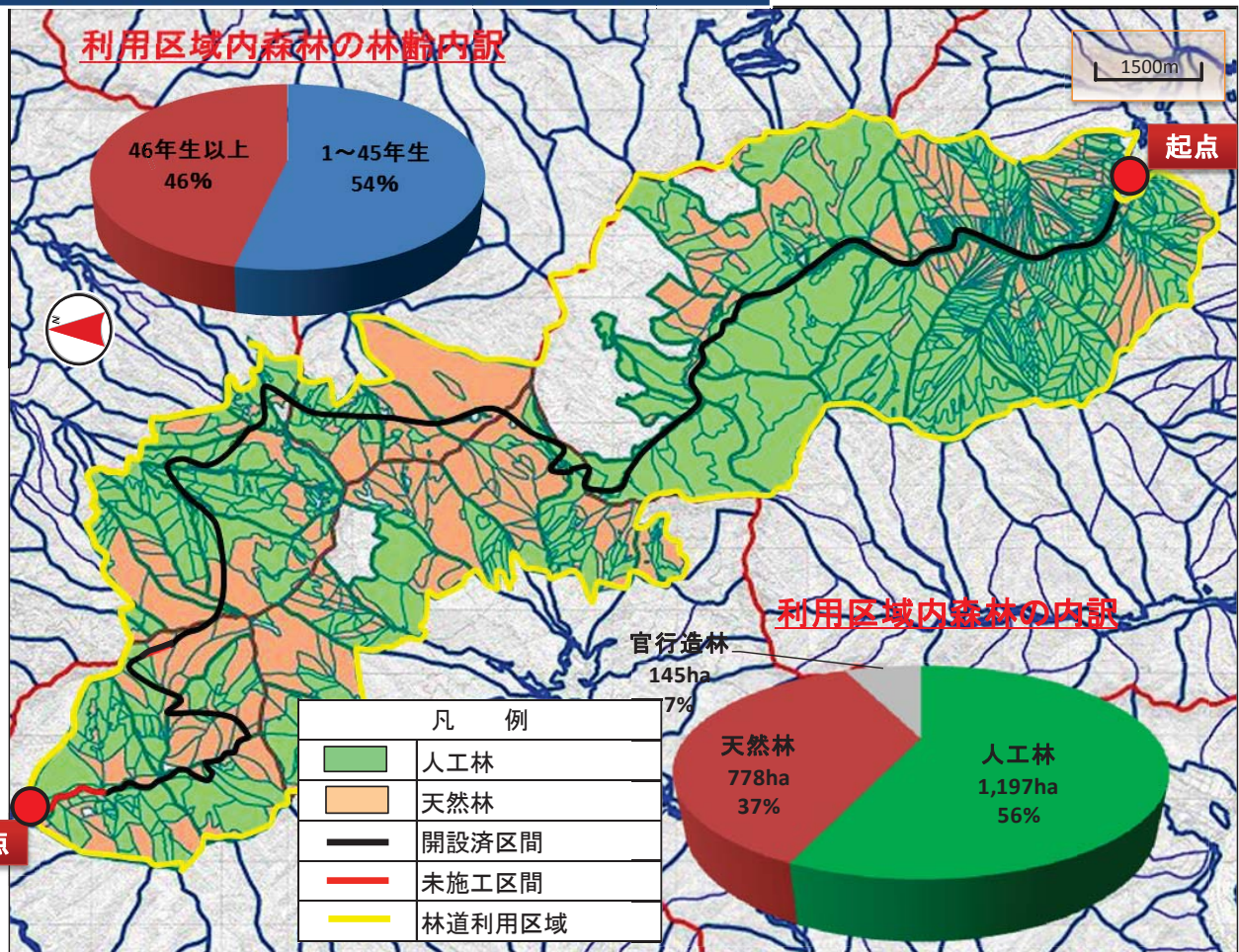


長良川木材事業協同組合

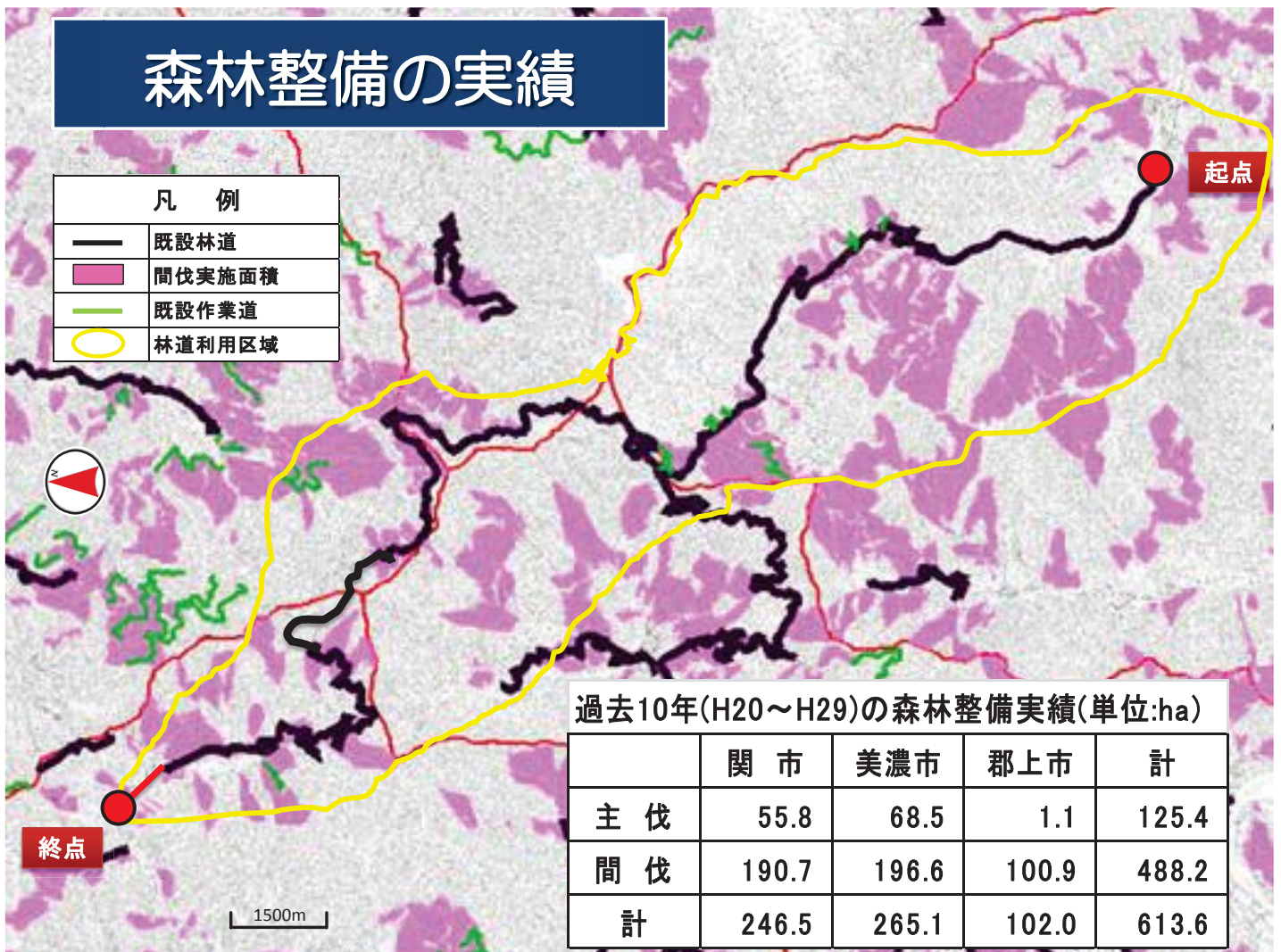
公共林道事業
 (森林環境保全整備事業・農山漁村地域整備交付金 他)
林道 中美濃線



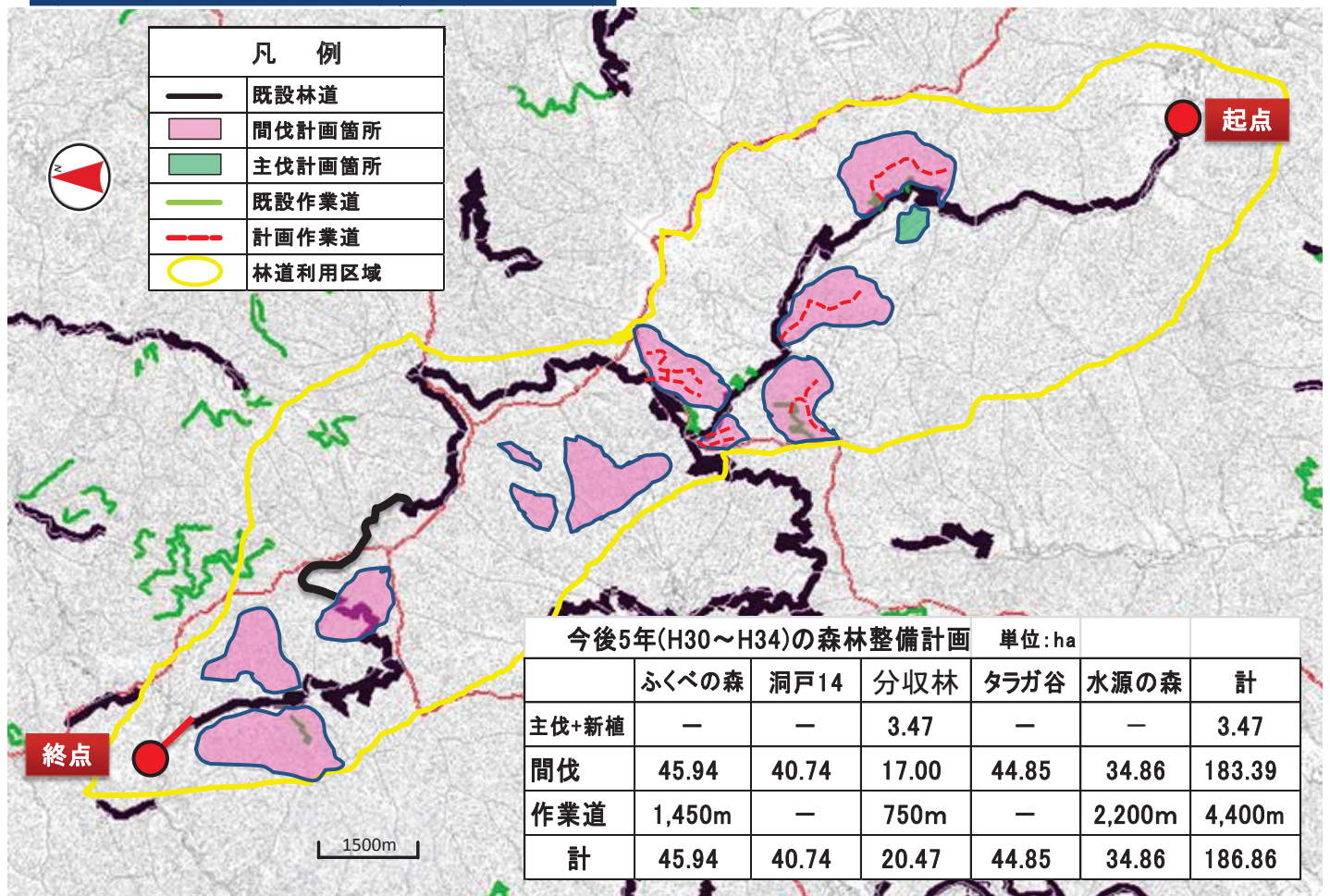
利用区域内の森林現況



森林整備の実績



森林整備の計画



費用対効果の分析

事業の効果

- 木材生産等便益 効果全体の19%
- 森林整備経費縮減等便益 効果全体の79%
- 森林の総合利用便益 効果全体の2%

投資的效果

効果額

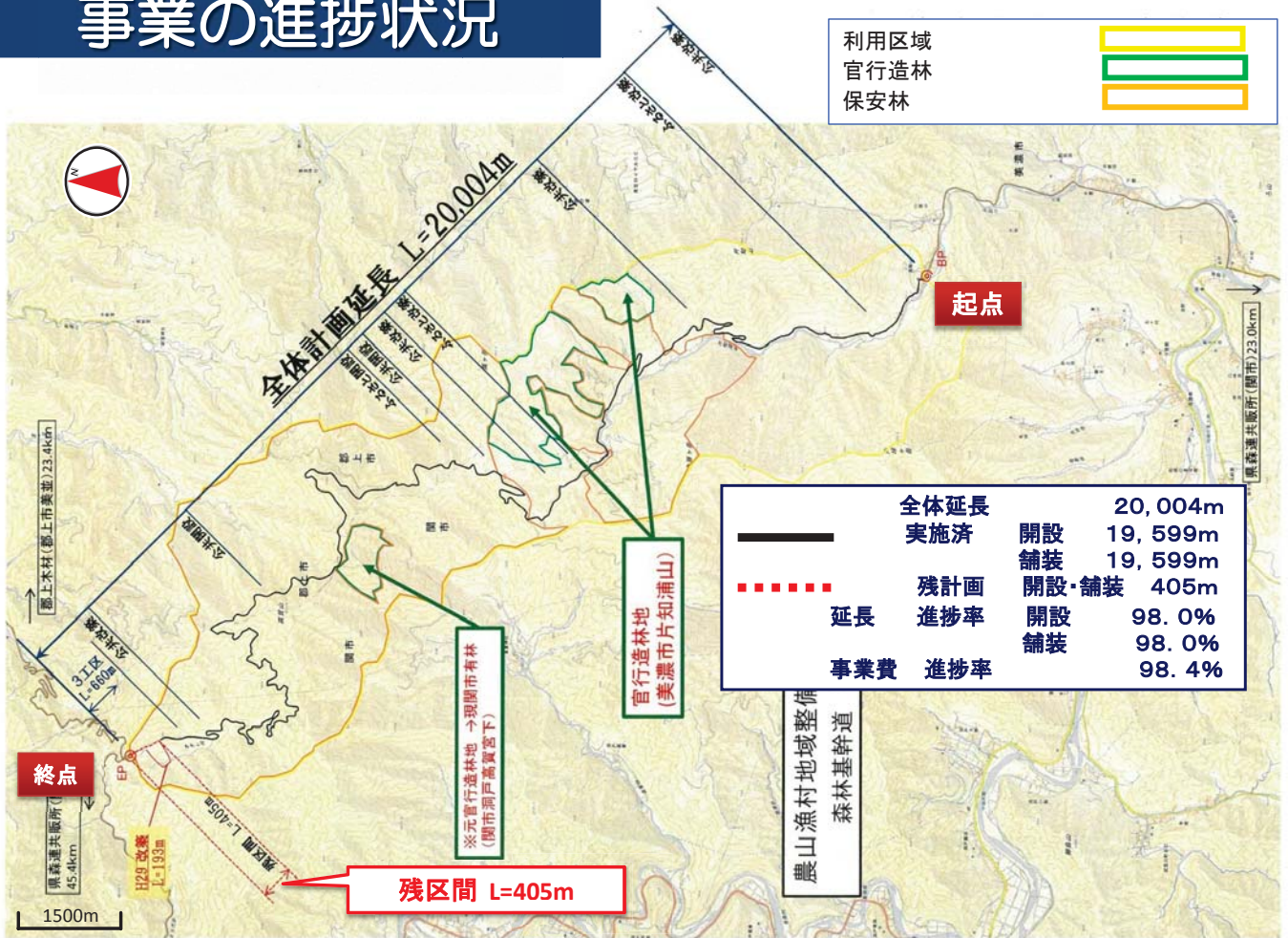
= 1.2

前回評価時
(H25年度)
1.4

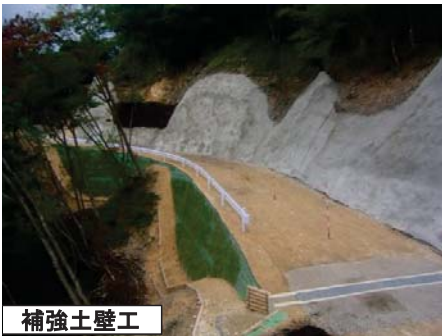
事業費



事業の進捗状況



コスト削減の取組み・環境への配慮



コスト削減への取組み

- 補強土壁工、L型擁壁工の採用
(土工量、構造物費用の軽減)



環境への配慮

間伐材を積極的に活用

- 木製階段工
- 木製アスカーブ
- 丸太伏工
- 木柵工

対応方針（案）

- 森林の持つ公益的機能の向上、原木の安定供給への貢献
- 高賀三山や多目的保安林を背景とした「癒しの空間」として、今後も多くの利用者が見込まれる
- 森林所有者、関市、美濃市、郡上市ともに、早期開通を強く望んでいる



継続して事業を実施することが妥当

公共林道事業
 (森林環境保全整備事業・農山漁村地域整備交付金事業)
林道 加茂東線

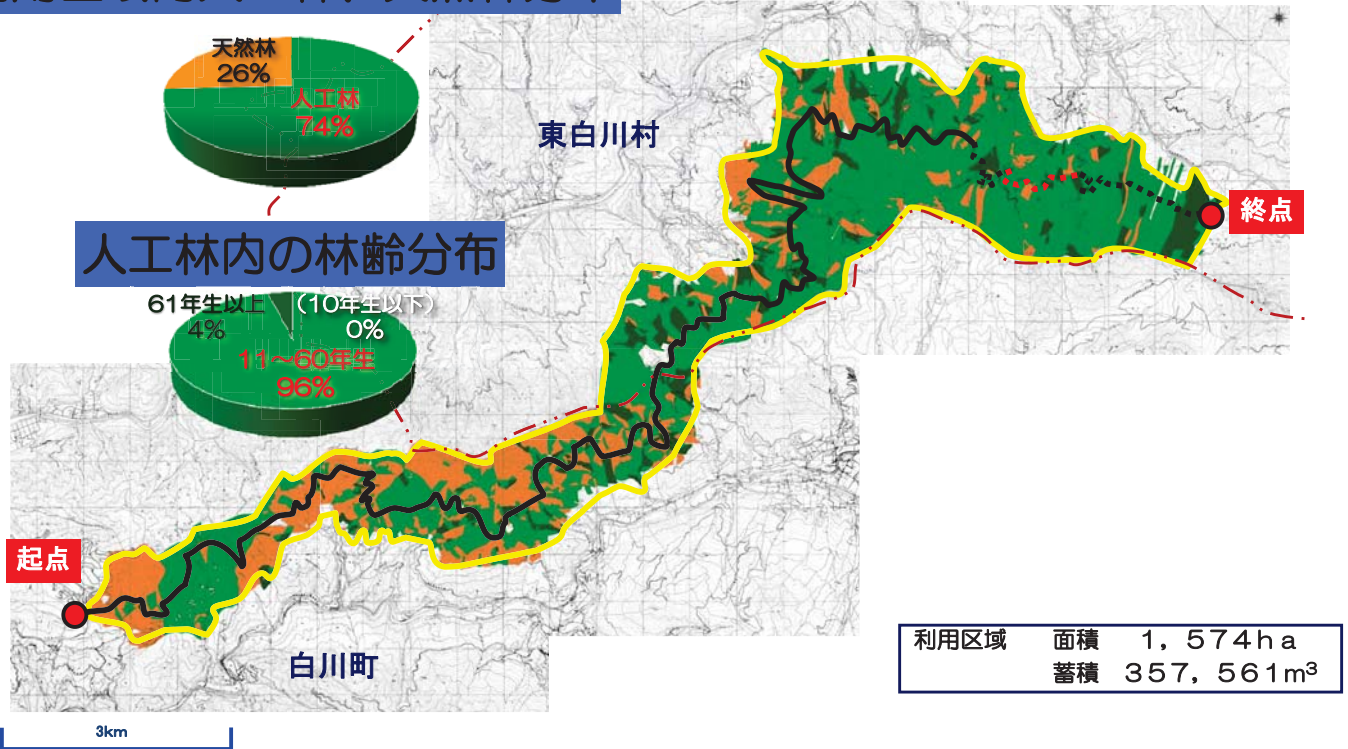


位置図及び事業概要

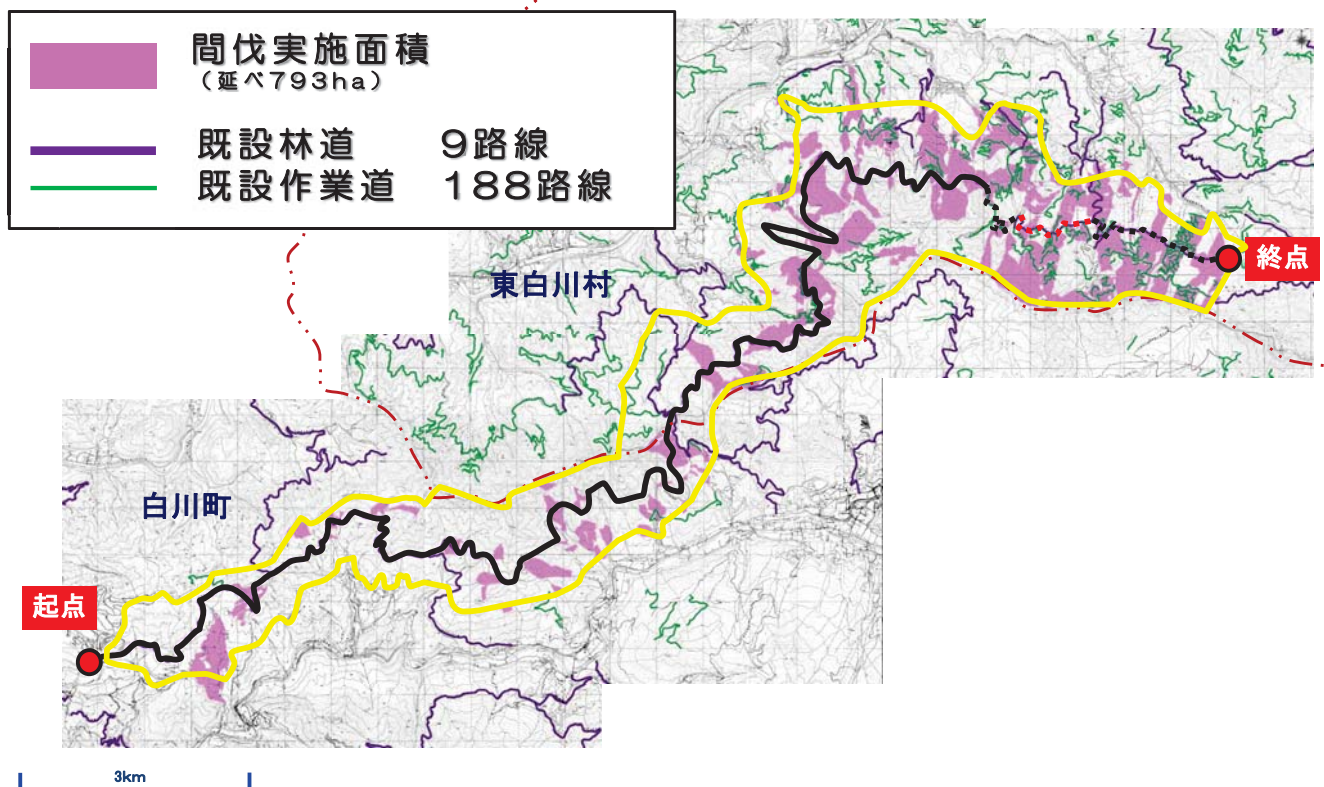


利用区域内の森林現況

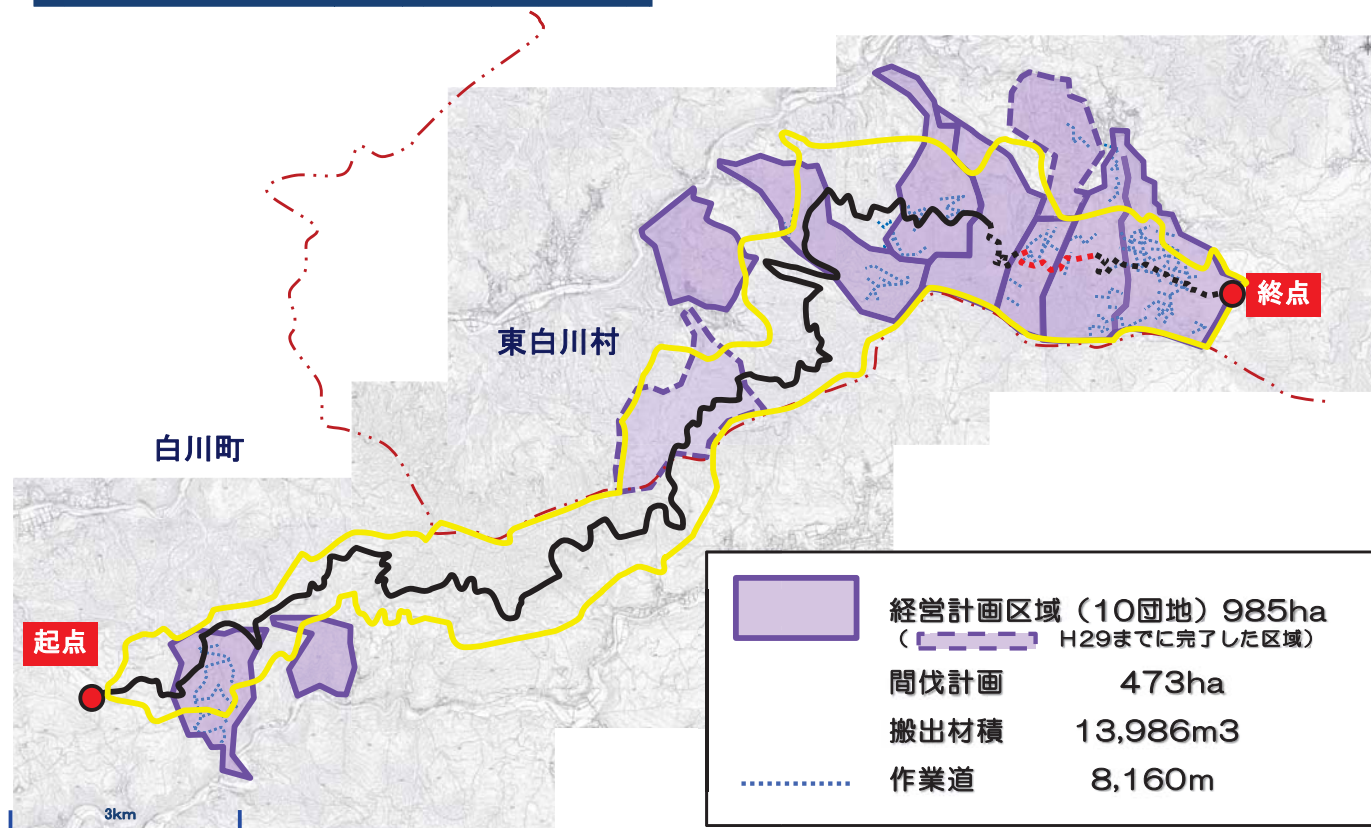
利用区域内人工林、天然林分布



森林整備の実績



森林整備の計画



費用対効果の分析

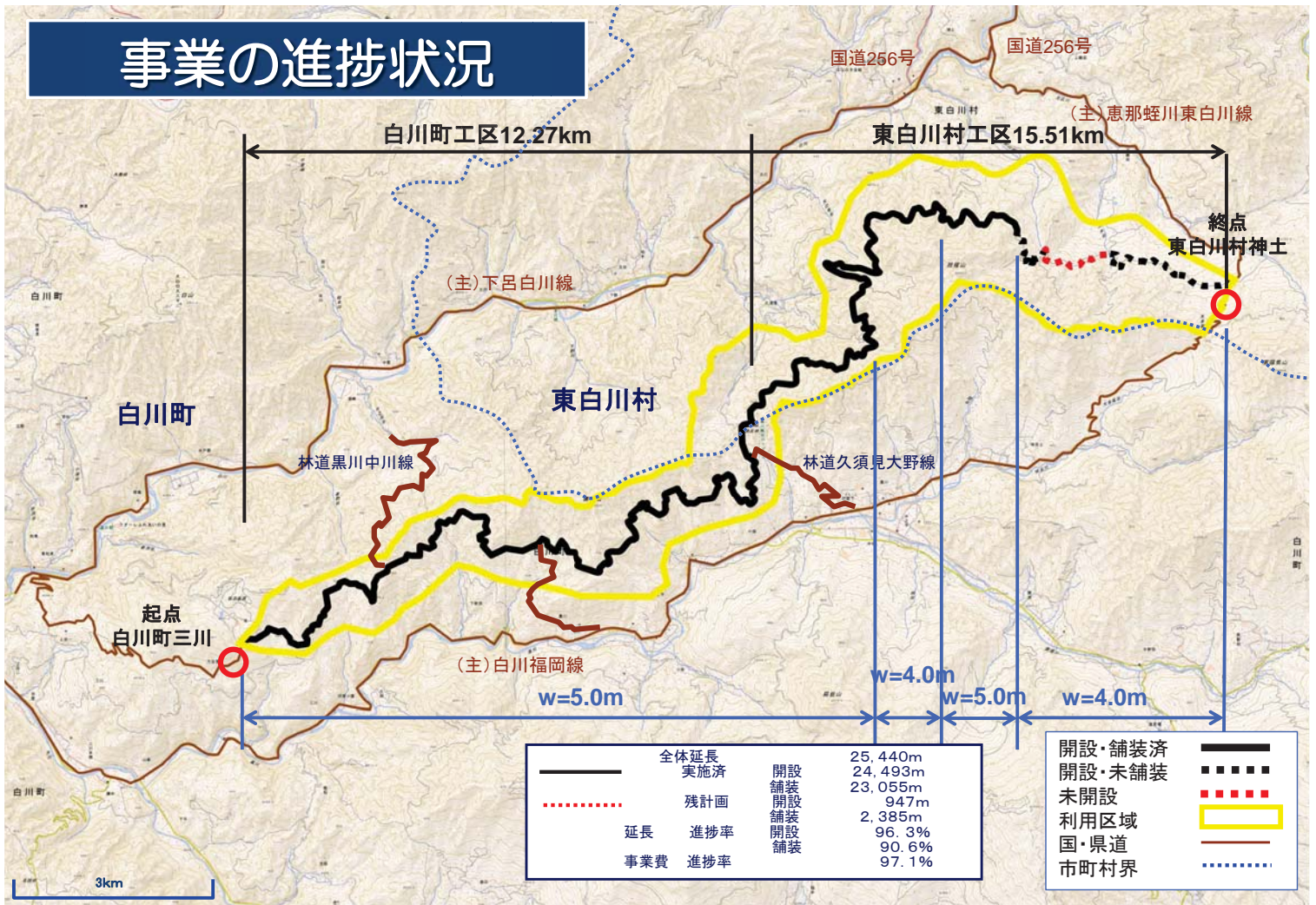
事業の効果

- 木材生産等便益 効果全体の16%
- 森林整備経費縮減等便益 効果全体の84%

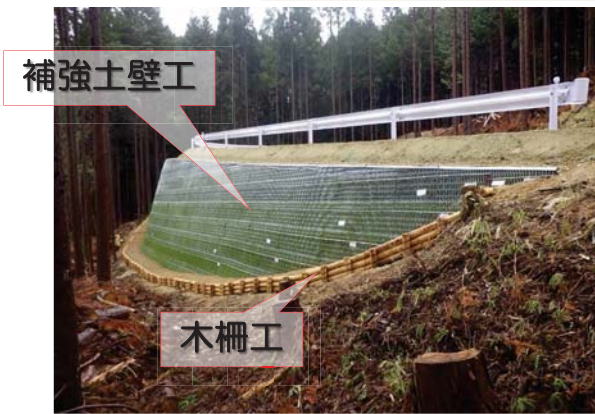
投資的效果

$$\frac{\text{効果額}}{\text{事業費}} = 1.5 \quad \text{前回評価時 (H25年度) 1.6}$$

事業の進捗状況



コスト縮減への取組み・環境への配慮



コスト縮減への取組み

- 補強土壁工の採用
(土工量、構造物費用の軽減)



環境への配慮

- 間伐材を活用
(木伏工、木柵工)
- リサイクル認定製品の活用
(緑化基盤材)

対応方針（案）

- 豊富な森林資源を循環利用し、地域の森林の多面的機能の向上を図る
- 森林施業の集約化や効率的な作業システムの整備等を進め、県産材の安定供給体制の構築を図る
- 白川町、東白川村ともに早期の完成を希望しており、地域住民も本路線の完成を強く望んでいる



継続して事業を実施することが妥当

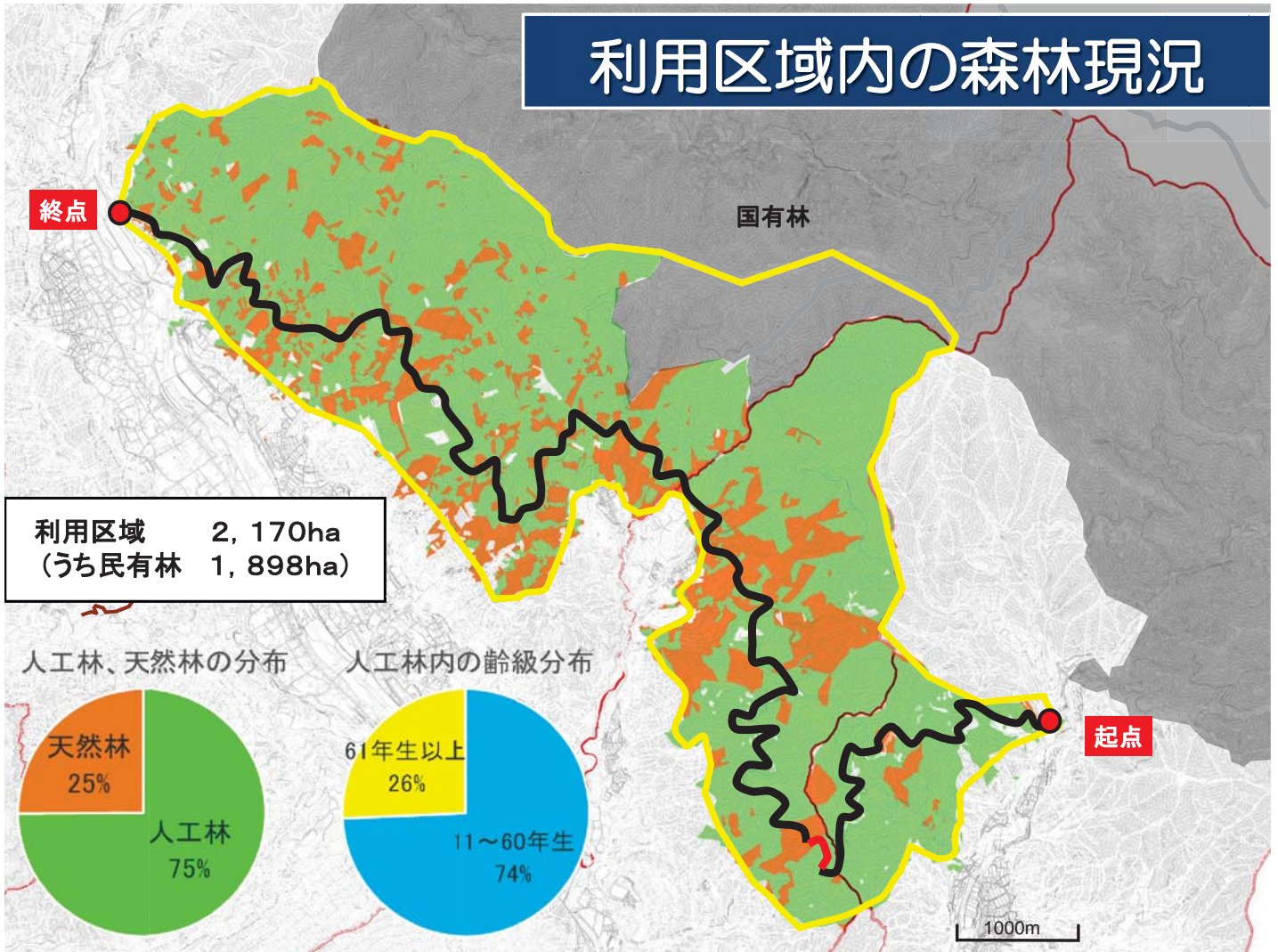
公共林道事業
(農山漁村地域整備交付金)
林道 恵北東線



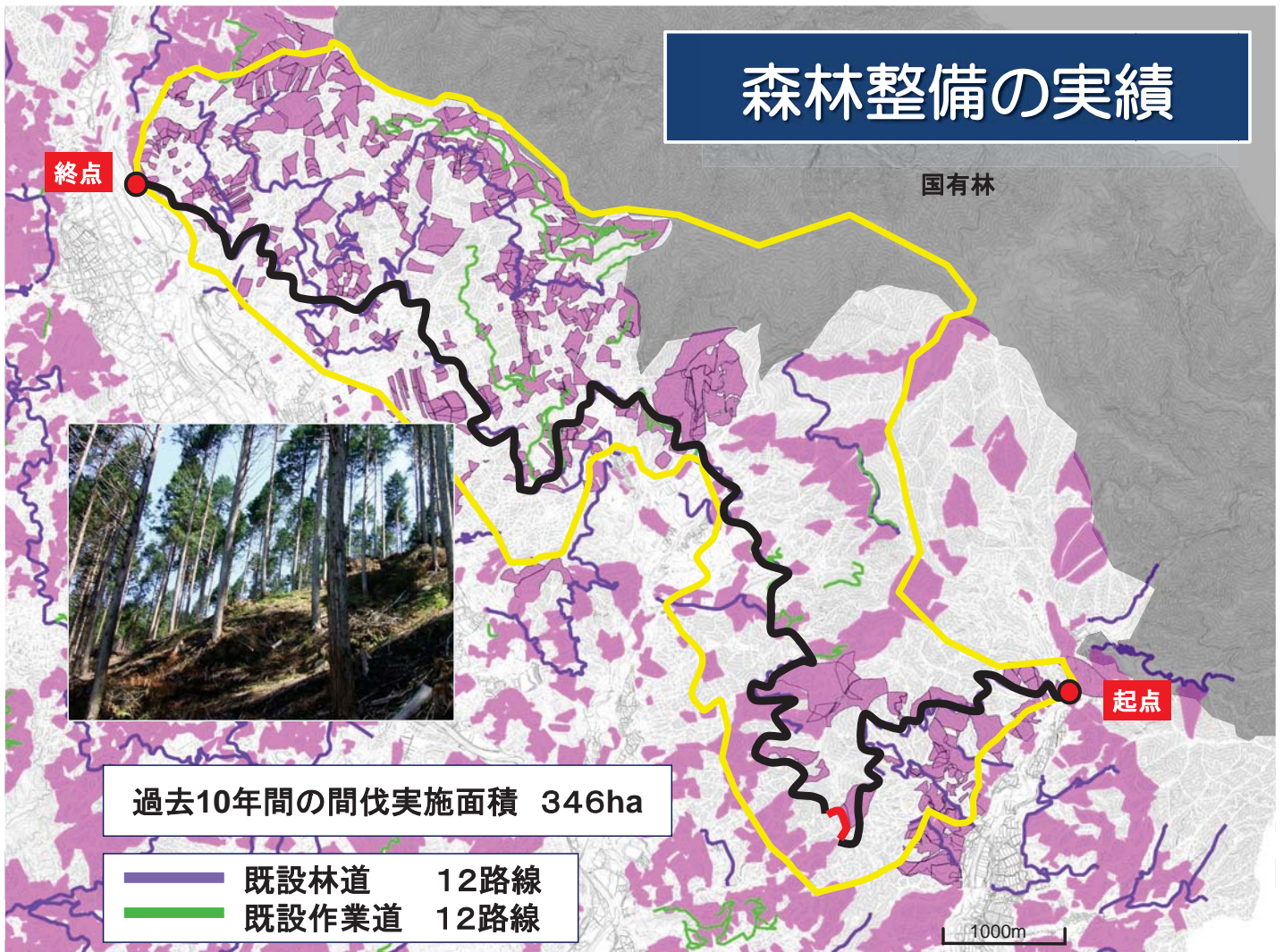
位置図及び事業目的



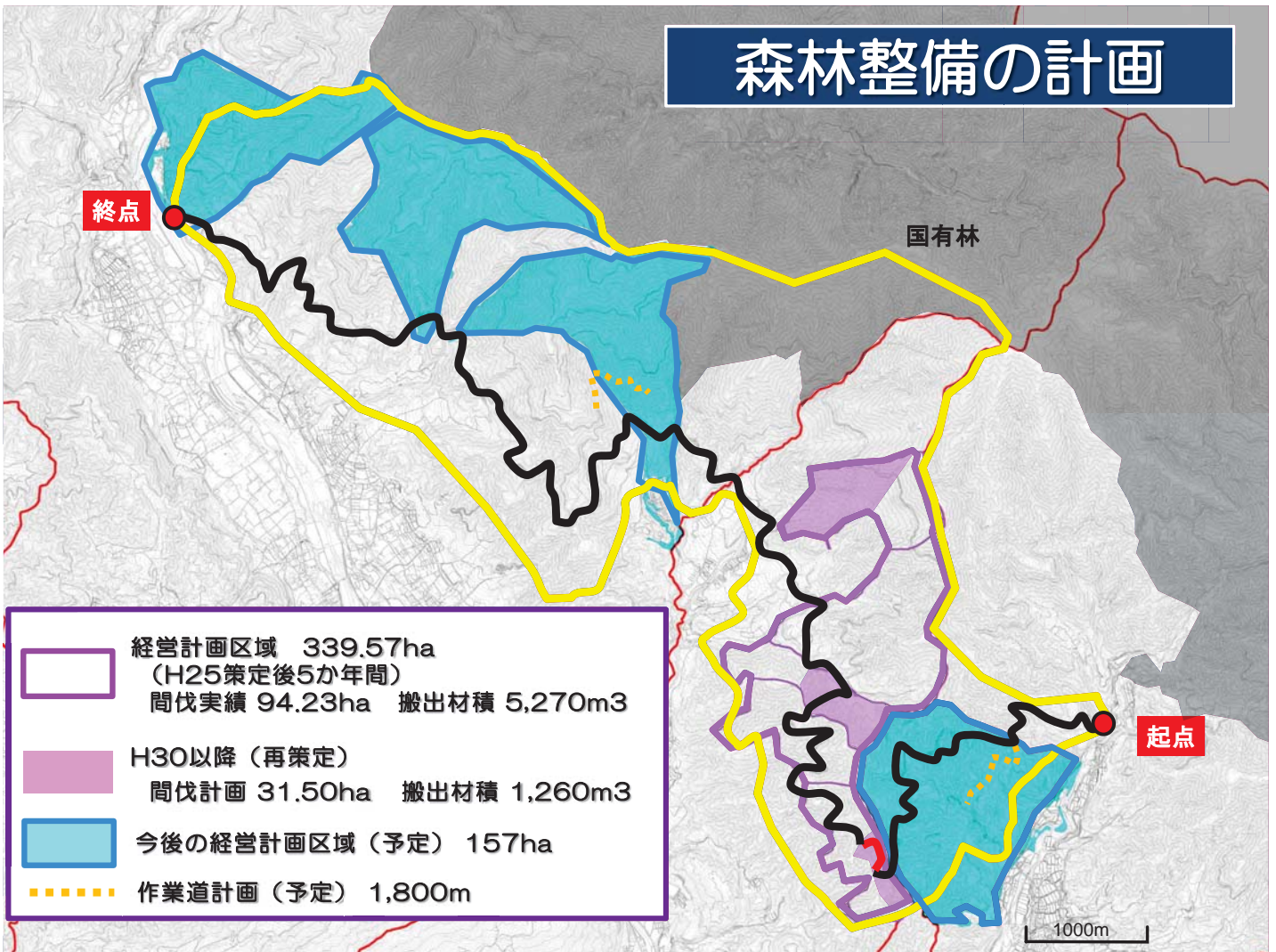
利用区域内の森林現況



森林整備の実績



森林整備の計画



費用対効果の分析

事業の効果

- | | |
|---------------|----------|
| • 木材生産等便益 | 効果全体の47% |
| • 森林整備経費縮減等便益 | 効果全体の52% |
| • 森林の総合利用便益 | 効果全体の1% |

投資的效果

効果額

= 1.3

事業費

前回評価時
(H25年度)
1.3

事業の進捗状況



コスト縮減の取組み・環境への配慮



コスト縮減への取組み

- ・補強土壁工の活用による残土処理の軽減
- ・L型プレキャスト製品の活用
(コンクリート擁壁・ブロック積→二次製品)



環境への配慮

- ・間伐材の利用(木伏工・木柵工)
- ・リサイクル認定製品の活用(緑化基盤材)

対応方針（案）

- 豊富な森林資源を循環利用し、森林の多面的機能の向上を図る
- 東濃ヒノキの主産地である中津川市において木材の生産コスト低減、安定供給を図る
- 中津川市及び地元関係者は事業の早期完成を強く要望している



継続して事業を実施することが妥当

公共林道事業
 (農山漁村地域整備交付金 地方創生道整備推進交付金)
 林道 三森山線



位置図及び事業目的

事業期間 平成5年度～平成40年度(36年間)
 事業内容 幅員 4.0～5.0m
 延長 31,043m
 事業費 7,699百万円
 利用区域面積 2,353ha

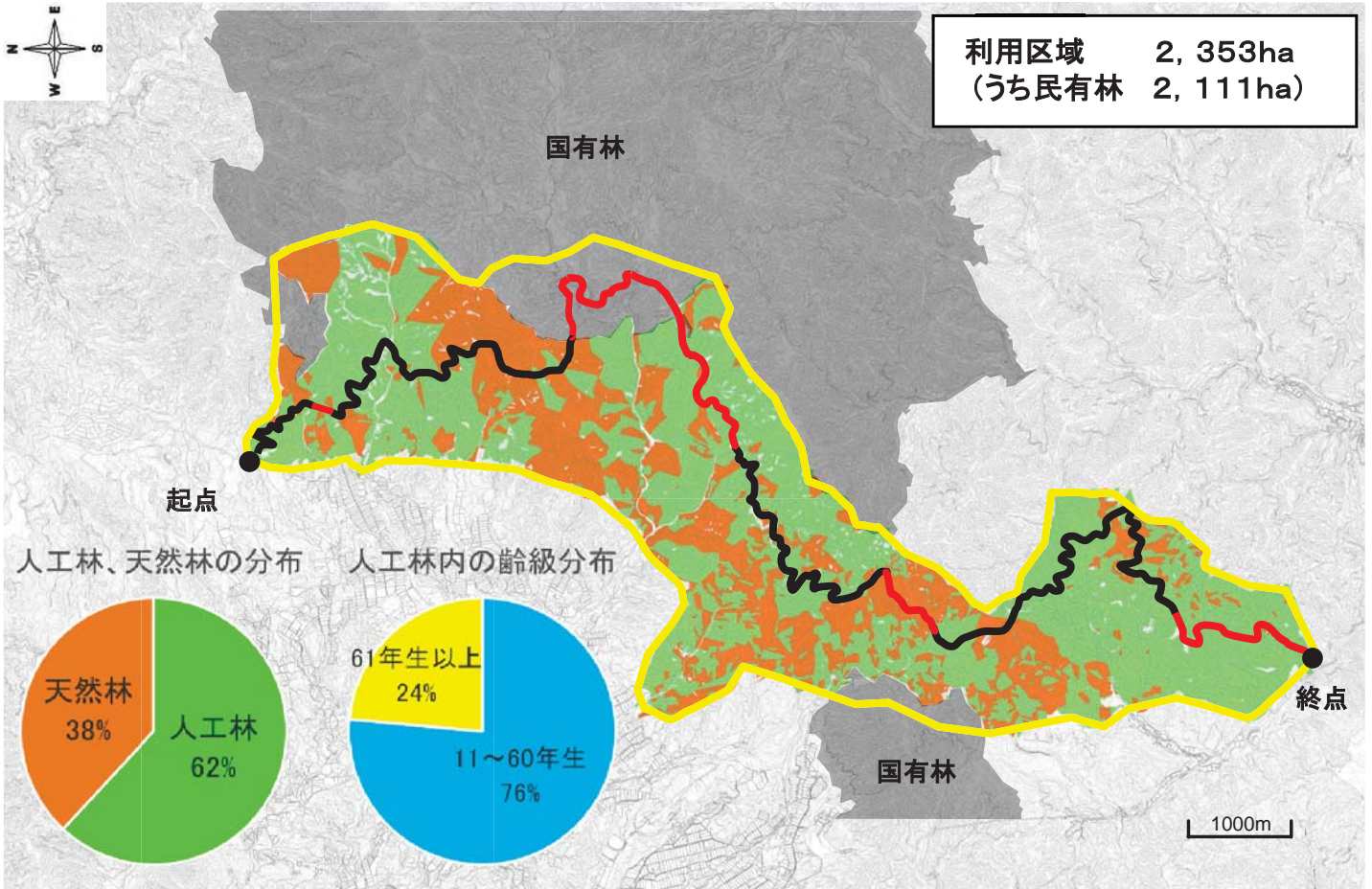


事業目的

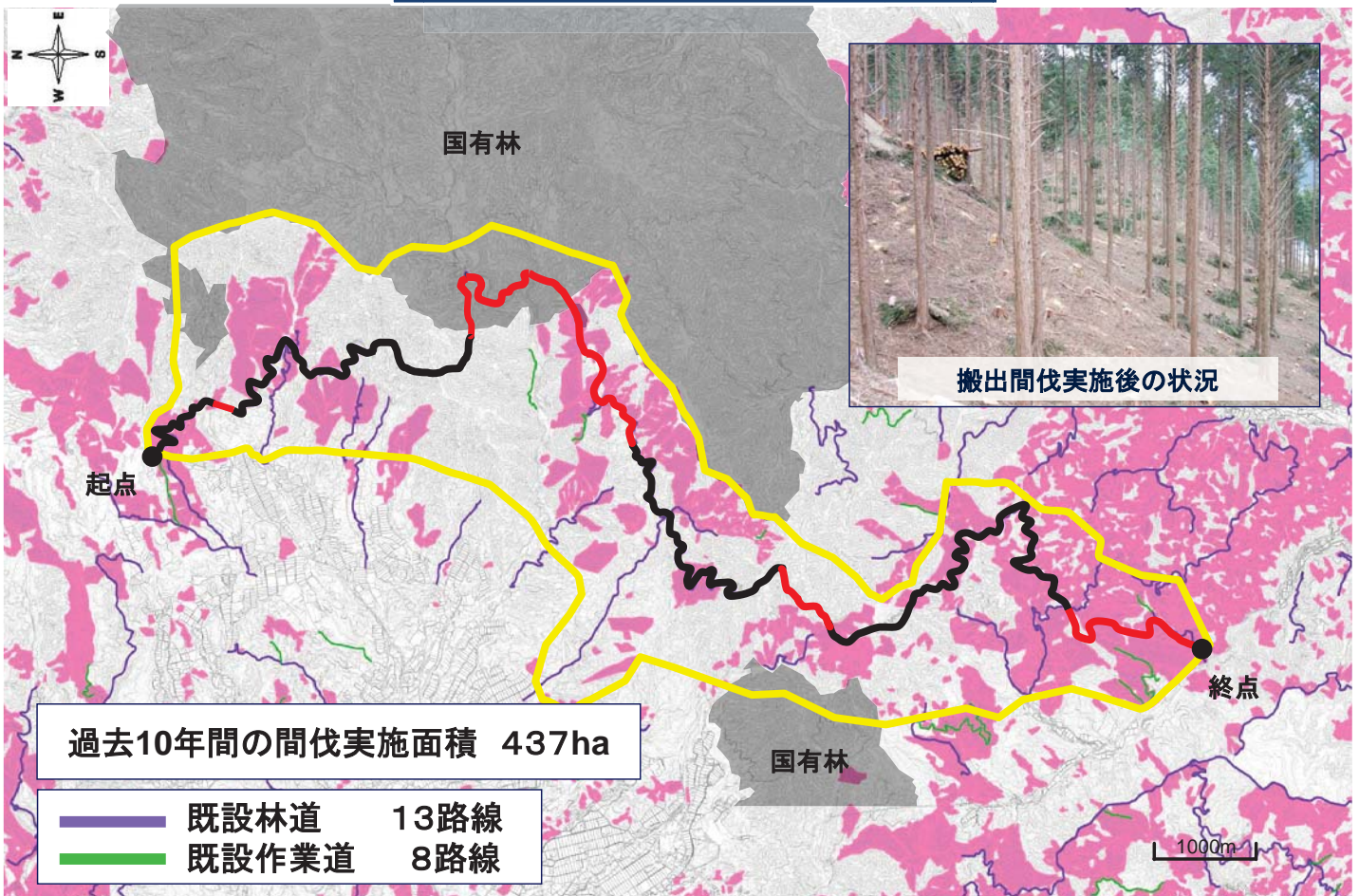
- 1 効率的な林業経営基盤
- 2 適正な森林整備の促進
- 3 東濃ヒノキの生産性向上

— 計画線
 — 利用区域

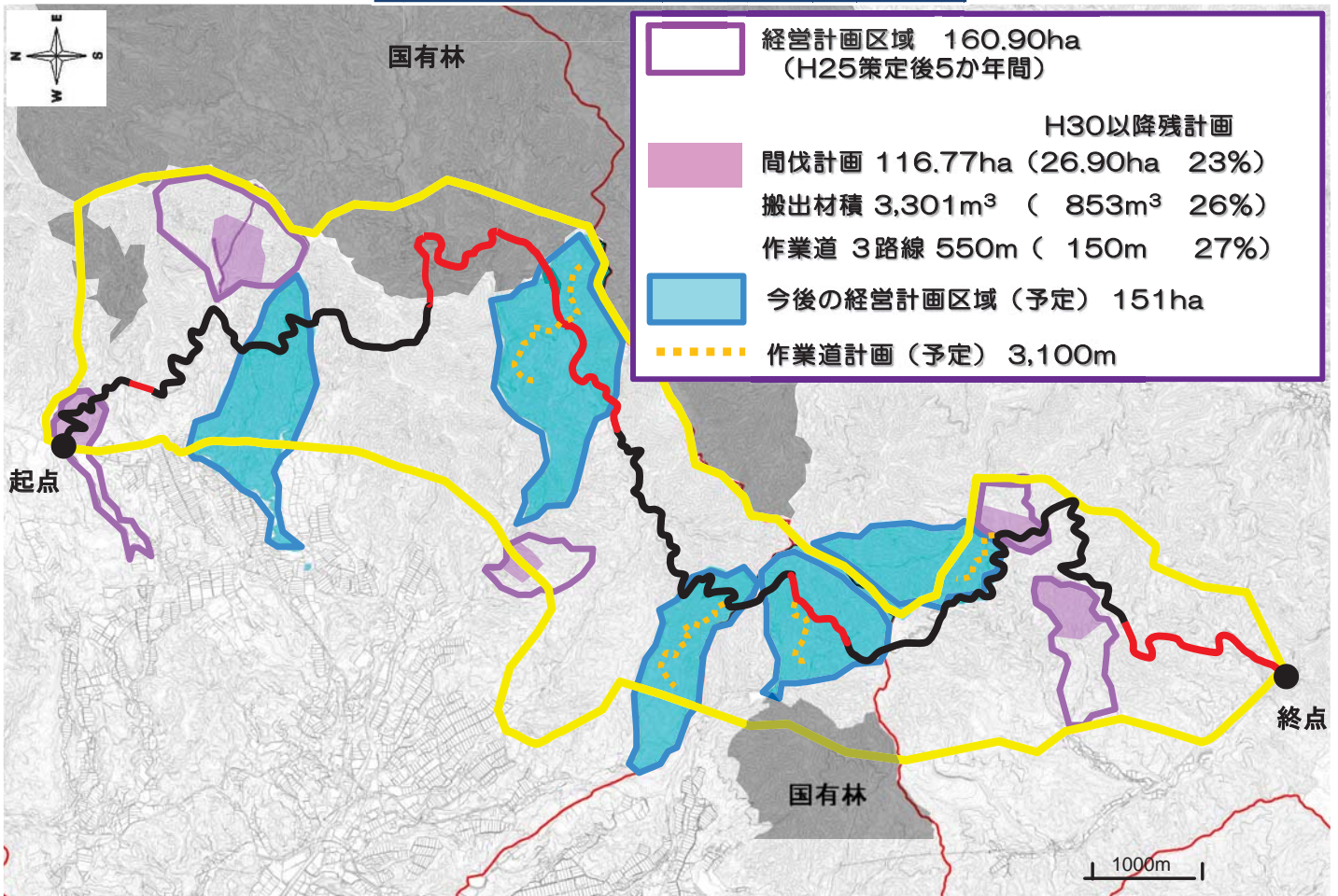
利用区域内の森林現況



森林整備の実績



森林整備の計画



費用対効果の分析

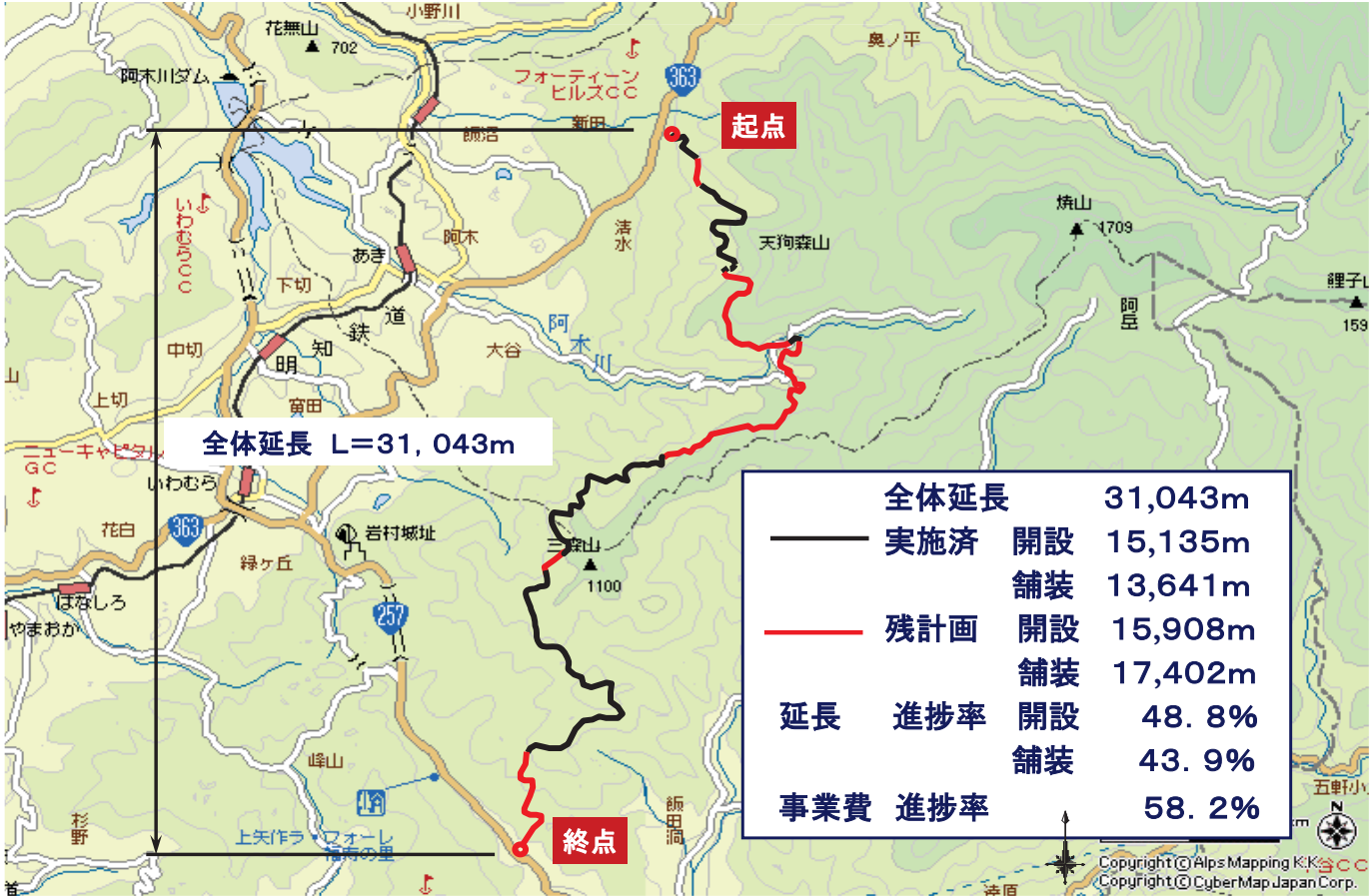
事業の効果

- 木材生産等便益 効果全体の40%
- 森林整備経費縮減等便益 効果全体の59%
- 森林の総合利用便益 効果全体の 1%

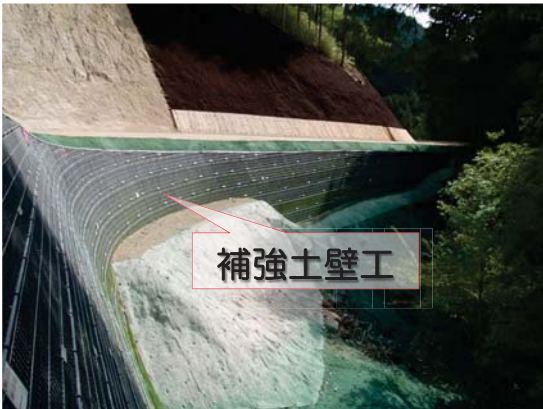
投資的效果

効果額	=	1.3	前回評価時 (H25年度) 1.3
事業費			

事業の進捗状況



コスト削減の取組み・環境への配慮



コスト削減への取組み

- ・補強土壁工の活用による残土処理の軽減
- ・L型プレキャスト製品の活用
(コンクリート擁壁・ブロック積→二次製品)



環境への配慮

- ・間伐材の利用(木伏工・木柵工)
- ・リサイクル認定製品の活用(緑化基盤材)

対応方針（案）

- 豊富な森林資源を循環利用し、森林の多面的機能の向上を図る
- 東濃ヒノキの主産地である中津川市、恵那市において木材の生産コスト削減、安定供給を図る
- 中津川市及び地元関係者は事業の早期完成を強く要望している



継続して事業を実施することが妥当

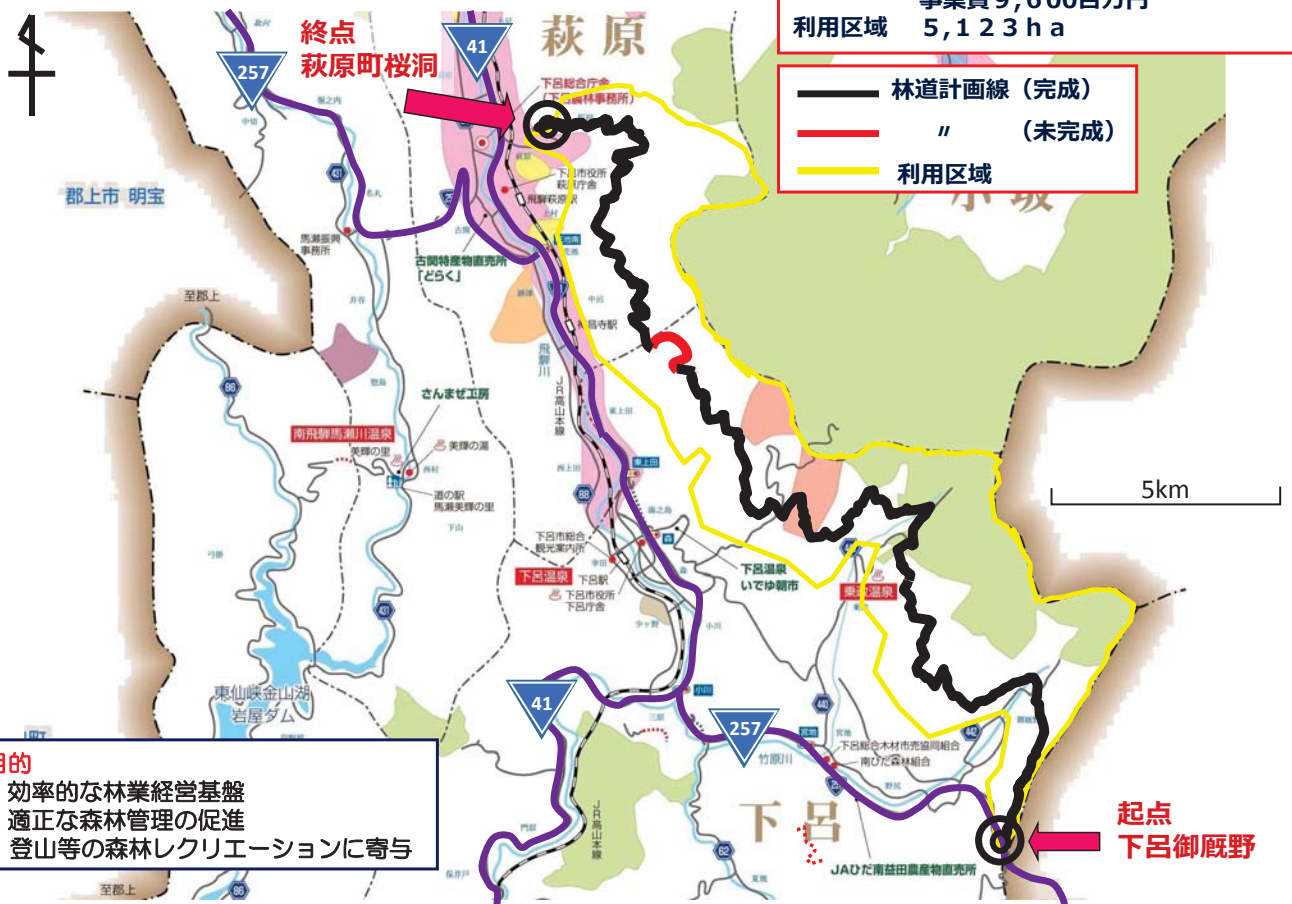
公共林道事業
 (森林環境保全整備事業・農山漁村地域整備交付金)
林道 下呂～萩原線



位置図及び事業目的

計画期間 S 6 2～H 3 3年(3 5年間)
 路線概要 W=5.0m
 L=40,931m
 事業費9,600百万円
 利用区域 5,123ha

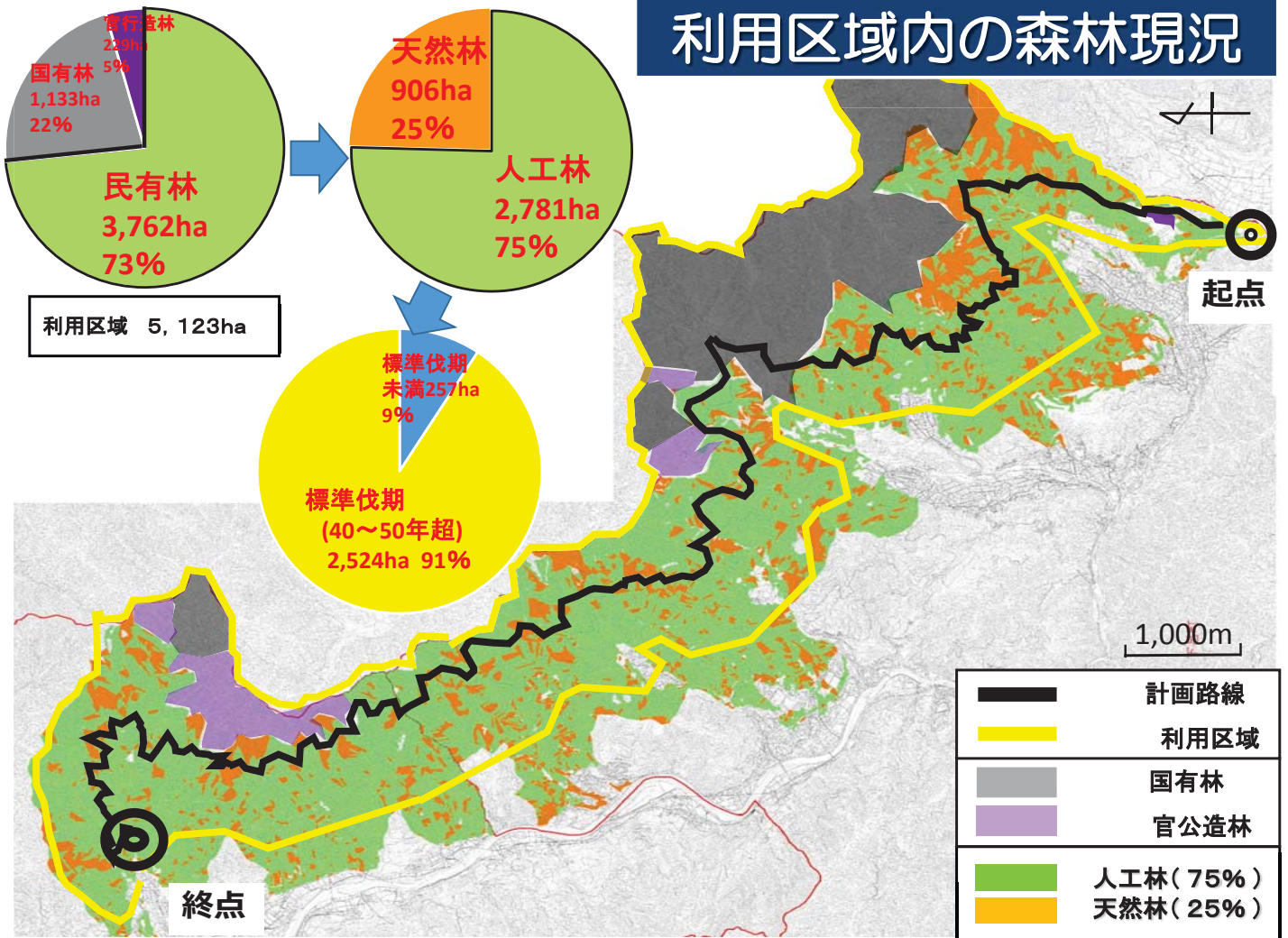
— 林道計画線 (完成)
 — 林道計画線 (未完成)
 — 利用区域



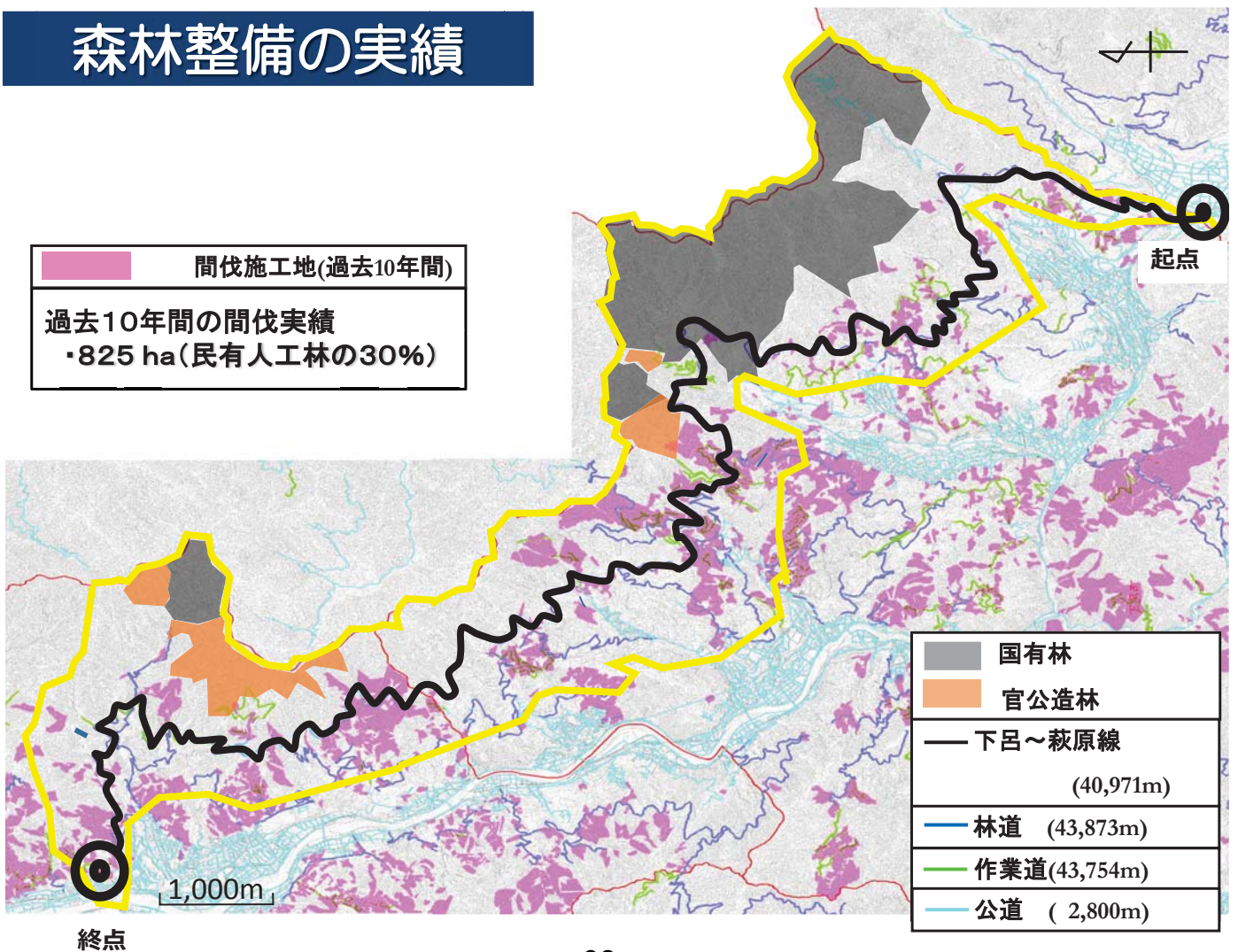
事業目的

- 1 効率的な林業経営基盤
- 2 適正な森林管理の促進
- 3 登山等の森林レクリエーションに寄与

利用区域内の森林現況

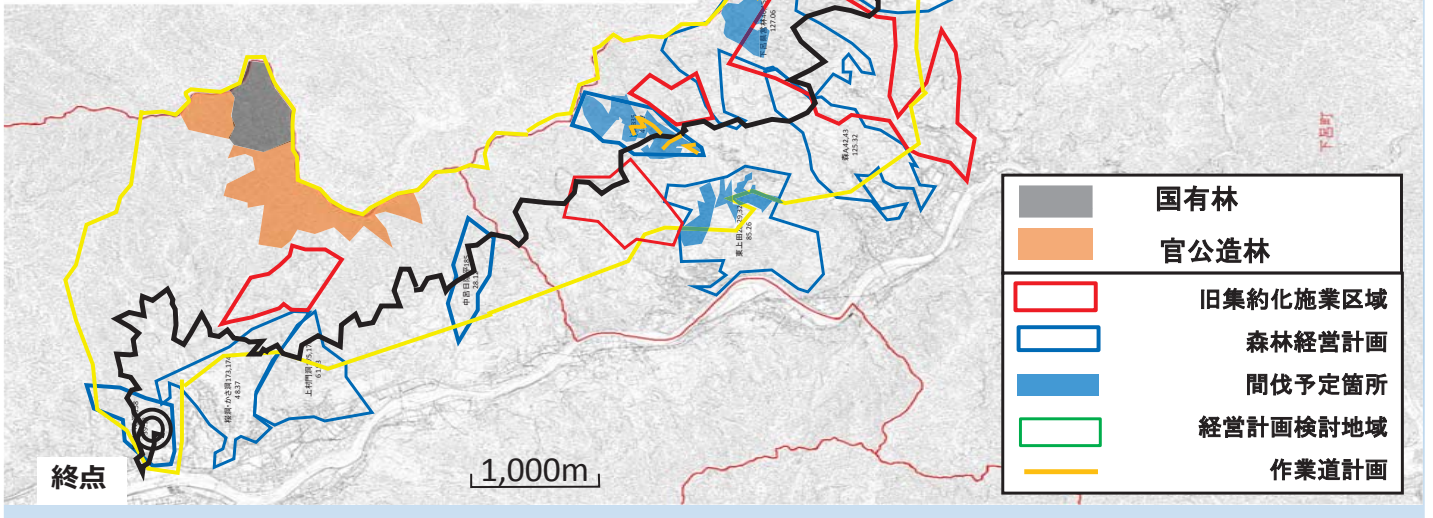


森林整備の実績



森林整備の計画

今後5年間の間伐計画
・189 ha(民有人工林の7%)



費用対効果の分析

事業の効果

- ・ 木材生産等便益 効果全体の25%
- ・ 森林整備経費縮減等便益 効果全体の74%
- ・ 森林の総合利用便益 効果全体の 1%

投資的效果

効果額

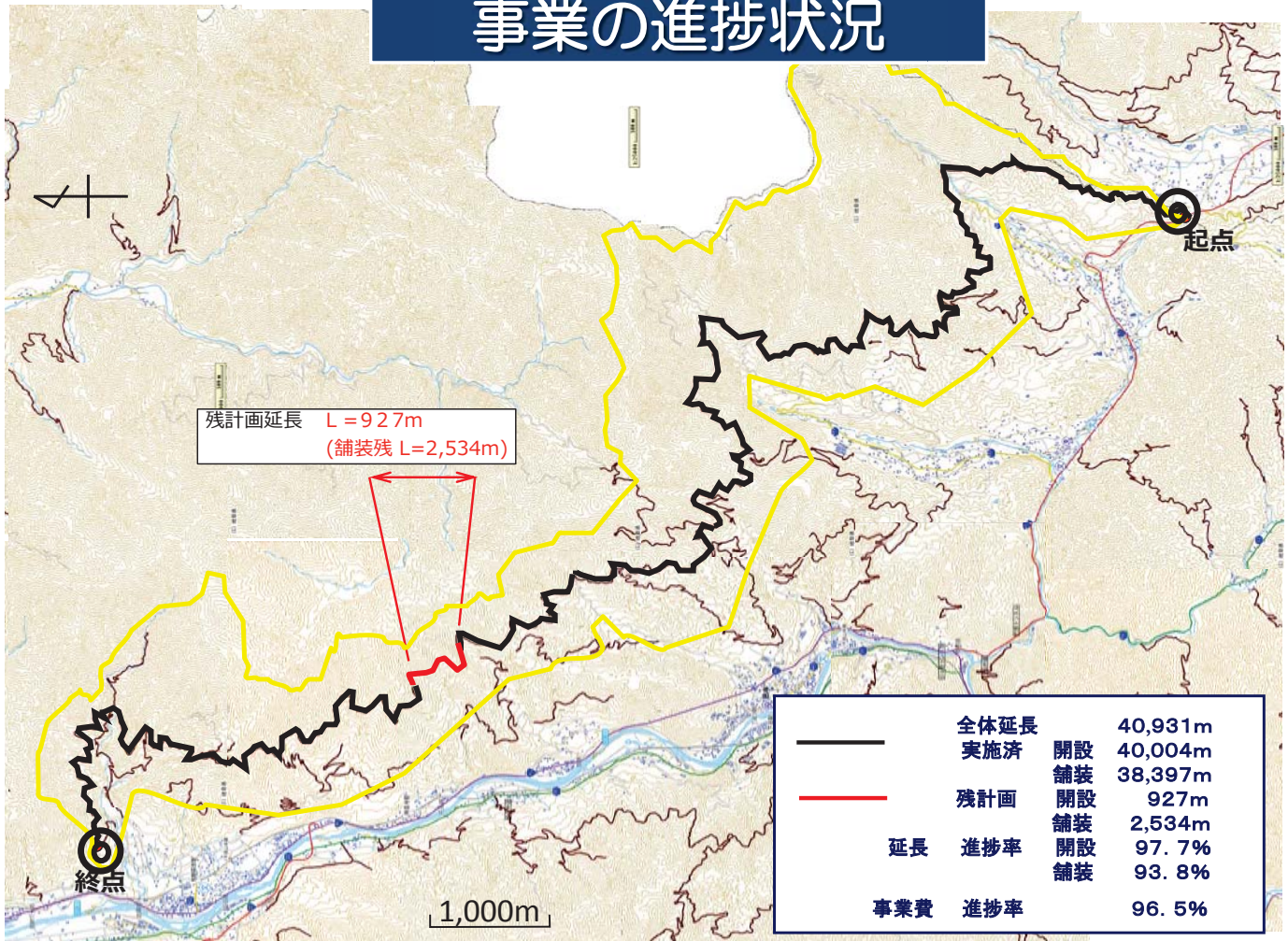
事業費

=

1.2

前回評価時
(H25年度)
1.2

事業の進捗状況



コスト縮減への取組み・環境への配慮



コスト縮減への取組み

- ・L型擁壁、補強土壁工の採用



環境への配慮

- ・間伐材を利用した工法の採用
- ・リサイクル認定製品の活用

対応方針（案）

- 間伐材搬出などの森林整備が急務
- 地元材の直送体制の構築など林業振興に重要な路線
- 登山等の森林レクリエーションによる観光産業への貢献
- 下呂市及び地元関係者から早期全線供用開始に対する要望が強い



継続して事業を実施することが妥当